

科目名	音楽基礎B3							年度	2025
英語科目名	Basic Theory of Music B3							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田中 綾美		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ピアニスト			
【科目の目的】									
イヤートレーニングによる相対音感の強化、譜面の正確な読み書きのトレーニングを目的とする。アーティストにとって相対音感を鍛えることと記譜・読譜スキルは、ミュージシャン同士の意思疎通を行う上で必要不可欠なスキルである。また、「音楽基礎A」の授業で取り扱う「音楽理論」についてより深く理解することも目的とする。									
【科目の概要】									
授業動画、授業内課題									
【到達目標】									
A. 半音と全音、音程について理解できる B. メロディ進行の分類ができる C. 4Beat、8ビートのメロディを採譜できる D. 16Beatのメロディを採譜できる E. 4拍子以外のメロディを採譜できる									
【授業の注意点】									
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	半音と全音、音程について理解でき、簡潔に説明できる		半音と全音、音程について理解できる			半音と全音、音程について理解できない			
到達目標 B	メロディ進行の分類ができ、簡潔に説明できる		メロディ進行の分類ができる			メロディ進行の分類ができない			
到達目標 C	4Beat、8ビートのメロディを採譜でき、綺麗に書くことができる		4Beat、8ビートのメロディを採譜できる			4Beat、8ビートのメロディを採譜できない			
到達目標 D	16Beatのメロディを採譜でき、綺麗に書くことができる		16Beatのメロディを採譜できる			16Beatのメロディを採譜できない			
到達目標 E	4拍子以外のメロディを採譜でき、綺麗に書くことができる		4拍子以外のメロディを採譜できる			4拍子以外のメロディを採譜できない			
【教科書】									

【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価							
成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価							
平常点 10% 積極的な姿勢							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		音楽基礎B3			年度	2025	
英語表記		Basic Theory of Music B3			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	音程①	全音と半音の違いを理解する	1	半音	半音について理解できる		
			2	全音	全音について理解できる		
			3	鍵盤の距離	鍵盤上の半音と全音の見方が理解できる		
2	音程②	音程の概要を理解する	1	音程	音程について理解できる		
			2	数え方	音程の数え方を理解できる		
			3	度数	度数の表記法を理解できる		
3	音程③	長短、完全音程を理解する	1	長音程	長音程について理解できる		
			2	短音程	短音程について理解できる		
			3	完全音程	完全音程について理解できる		
4	音程④	増減音程、異名同音を理解する	1	増減音程	増減音程について理解できる		
			2	重音程	重音程について理解できる		
			3	異名同音	異名同音について理解できる		
5	音程⑤	順次進行と跳躍進行を理解する	1	メロディ進行の分類	メロディ進行の分類を理解できる		
			2	順次進行	順次進行について理解できる		
			3	跳躍進行	跳躍進行について理解できる		
6	音程⑥	スケールを理解する	1	スケール	スケールについて理解できる		
			2	メジャースケール	メジャースケールの響きを聞き分けられる		
			3	マイナースケール	マイナースケールの響きを聞き分けられる		
7	採譜トレーニング①	鳴らされた音を採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
8	採譜トレーニング②	4Beatのメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
9	採譜トレーニング③	8Beatのメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
10	採譜トレーニング④	16Beatのメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
11	採譜トレーニング⑤	3連符のメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		

			3	答え合わせ	精度を高めることができる
12	採譜トレーニング⑥	Shuffleのメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる
			3	答え合わせ	精度を高めることができる
13	採譜トレーニング⑦	拍子の違うメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる
			3	答え合わせ	精度を高めることができる
14	採譜トレーニング⑧	シンコペーションのあるメロディを採譜する	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる
			3	答え合わせ	精度を高めることができる
15	前期の復習	前期に学んだことを振り返る	1	振り返り	前期に復習した内容を振り返ることができる
			2	質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる
			3	後期の目標	後期の目標を立て、自発的に学習できる
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					